

令和4年度地震・津波防災訓練 (内閣府・広島県福山市)

実施報告書 (概要版)

広島県福山市について

広島県福山市は、広島県の東南部に位置し、市内中心を流れる一級河川の芦田川は、中央東部を北から南に流れ、瀬戸内海に注いでいる。芦田川下流に発達した福山平野は、一般に山がちで平野の少ない広島県においては、まれな平野地帯で市の中心となっている。

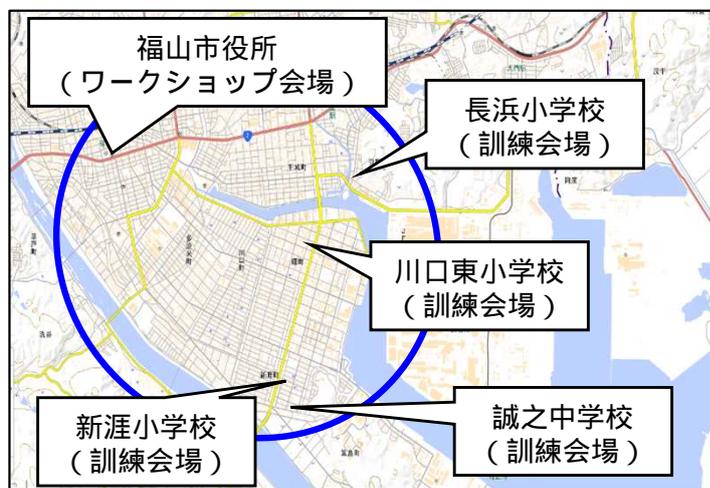
気象特性は、温暖で雨量が少なく晴天の日の多い、いわゆる瀬戸内式気候である。北に中国山地、南は四国山地の間に位置していることや、台風の常襲通過圏からやや離れていることから、台風による災害は比較的少ない。

福山市では平成30年7月豪雨災害において、死亡3名(関連死1名を含む)、重傷5名、全壊14件、大規模半壊2件、半壊77件、床上浸水(半壊を除く)1,250件、床下浸水896件と、甚大な被害が発生した。

福山市では、毎年11月第4日曜日を全市一斉で総合防災訓練の日として、各学区・地区の自主防災組織が中心となって実践的な訓練を実施している。

市内には災害種別ごとに合計338か所の緊急避難場所を指定しており、公共施設のみならず、民間事業者とも積極的に協定を締結して、災害時の避難先の確保に努めている。

また、2021年2月に洪水ハザードマップを作成し全戸配布して、地域リスクや緊急避難場所の周知啓発を行い、地域の防災意識向上に取り組んでいる。



出典：国土地理院

訓練概要

訓練想定：令和4年11月27日（日）午前9時、南海トラフを震源とするマグニチュード9.1の巨大地震が発生、福山市において最大震度6強を観測、最大3.3mの津波が4時間30分後に襲来する想定のもと訓練を実施した。

実施日時：【訓練実施前WS】令和4年10月1日（土）、2日（日）14:00～16:00

【訓練】令和4年11月27日（日）09:00～12:00

【訓練実施後WS】令和5年1月22日（日）14:00～16:00

主催：福山市、内閣府

参加者数：1,767名（メイン会場の新涯小学校では628名が参加）

参加機関：市内6学区・地区の自主防災組織、自衛隊、警察等、福山市

訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、情報伝達・安否確認訓練等

訓練の特色：自主防災組織主導による学区・地区毎の津波指定避難場所への避難等を重点に訓練

訓練の成果

【成果】

訓練前ワークショップ、津波避難訓練及び訓練後ワークショップの接続により、各学区・地区の特性等を把握したうえで、津波に対する身近な・自治会別の避難場所の確保、避難経路の選定・確保（再確認）・整備、自治会毎の避難計画の作成、要支援者の避難支援への対応の必要性などについての理解が得られた。

津波避難訓練では、各津波指定避難場所に避難するまでの一連の行動は、整齐と行われ、各学区・地区住民の高い防災意識と訓練への参画意識が窺われた。津波避難訓練後、メイン会場である新涯小学校のグラウンド（新涯学区）において、防災展示や応急救護など、防災関係機関及び協定事業者との協同による各種訓練が実施されたが、地域住民の他、特に子ども達や外国人居住者も積極的に訓練に参加しており、実際に訓練に参加し、実体験等ができたことにより、帰宅後、家族で防災のことについて話し合う良い契機にもなった。

【課題】

メイン会場である新涯学区等での津波避難訓練では、まず、外の広場など、各町内会指定の避難場所（第1次避難場所）へ集合し、点呼等をとった後に、第2次避難場所へ避難していた。自主防災組織主導の訓練の統制上やむを得ない面があったが、海拔がかなり低い場所であること等を踏まえ、津波が至短時間に到達することが想定される場合は、まず各自が家族と事前に決めておいた避難場所等に全力で逃げることで、自らの命を守ることに全力を尽くすことが求められることから、訓練でも、そうした実災害時を想定した迅速な避難行動等を追求することが重要である。

10月1(土)、2日(日) 14:00～16:00 訓練実施前ワークショップ

- ・訓練実施前ワークショップは2日間にわたり行われ、1日目は座学形式でハザードマップや警報、気象情報等の知識の理解・習得、津波に関する地区防災計画作成の必要性や作成方法を学び、2日目は市職員と自主防災組織が一体となり、地域の課題等の把握や津波に関する地区防災計画の作成等について検討するなど、実践的・具体的なワークショップを実施した。

総括アドバイス
(神戸大学 室崎名誉教授)



ワークショップの様子



11月27日(日) 09:00～12:00 実動訓練（シェイクアウト訓練・津波避難訓練）

- ・11月27日(日)午前9時に巨大地震が発生し4時間30分後に最大3.3mの津波が襲来する想定の下、市内全域でシェイクアウト訓練を実施後、市内6学区・地区を対象に津波避難訓練を行い、津波指定緊急避難場所への津波避難を実践した。
- ・その後、各会場では、各学区・地区の自主防災組織主導により、防災関係機関や協定事業者による防災展示や各種訓練の体験、避難所運営訓練等の各種訓練が行われ、地区住民の防災意識を高めた。

シェイクアウト訓練



津波指定避難場所への津波避難訓練



情報伝達・安否確認訓練



避難所運営訓練
(長浜小学校)



応急給水訓練
(川口東小学校)



防災展示
(新涯小学校)



1月22日(日) 14:00～16:00 訓練実施後ワークショップ

- ・訓練実施後ワークショップでは、訓練自体の課題や、コミュニティが抱える防災に関する現状の課題等の認識を共有・整理するとともに、津波に関する地区防災計画策定のテーマ、目標や課題、実現のための方法や態勢などについてディスカッションを行い、今後の津波に関する地区防災計画策定のための足掛かりとした。

ワークショップの様子

